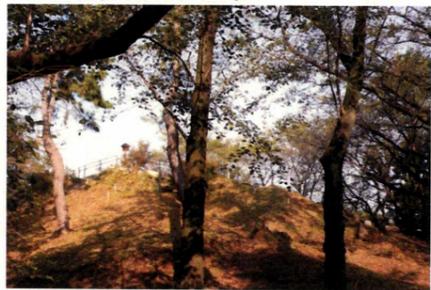


# 4-1 戸山公園箱根山エリア

戸山公園は、尾張藩徳川家下屋敷で、かつては戸山山荘と呼ばれていました。その中心には区内で最も標高の高い「箱根山（44.6m）」があります。その周囲には、早稲田大学や学習院女子大学、都営住宅、国立国際医療センターなどの大規模施設群があります。



## 1. 歴史あるみどり



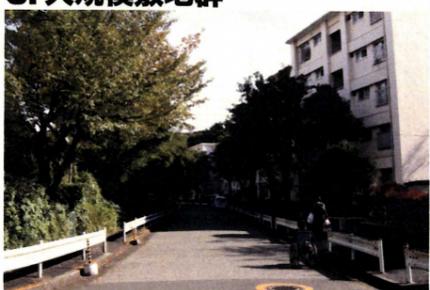
尾張藩徳川家下屋敷の庭園であったこのエリアには、窪地をいかした、ため池がありました。庭園の一部であった「箱根山」は、区内で最も標高が高く、その頂上は高く茂った公園の木々に囲まれています。

## 2. みどりで覆われた歩行者空間



周囲で生活する人々にとって戸山公園は、憩いの場であるとともに、生活動線としても使われています。そのため、その周辺においても公園と一体となった快適な歩行者空間の創出が必要です。

## 3. 大規模敷地群



エリア内には、大学や都営住宅、医療施設等が多数存在しています。それぞれの持つまとまったみどりを連続させ、快適で楽しめる歩行者空間の創出が必要です。

## 景観形成の目標

# 戸山公園と大規模施設群を中心としたみどり豊かなまちなみへ

公共用地とまち、公園が一体となり、多様な都市機能を有するみどりあふれる「都市の森」を形成する。

## 景観形成の目標

### 1. 戸山公園周辺ではまとまったみどりを保全、創出する

#### 景観形成の考え方

旧尾張藩邸下屋敷であった戸山公園一帯の歴史や地形をいかし、公園と周辺が一体となってまとまったみどりを創出する。

#### 具体的な方策

- 戸山公園箱根山周辺のみどりを保全する
- 大規模敷地の計画では、まとまった緑化を行う
- 中・小規模敷地の計画では、道路沿いで積極的に緑化を行う

### 2. 散策したくなる魅力的な歩行者空間をつくる

#### 景観形成の考え方

エリアを南北に貫く箱根山通りでは魅力的な坂道景観をつくり、また、戸山公園周辺の道路では、歩く人に快適な魅力ある景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 外壁の素材や色彩は、周囲の落ち着いた雰囲気と調和したものとする
- 擁壁の上部の塀・さくは高さを抑える
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する（壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図る など）
- 道路沿いには空地をとり、植栽帯を設ける
- 戸山公園への動線となっている道路沿いでは、歩道と連続した歩行者空間をつくり緑化を行う

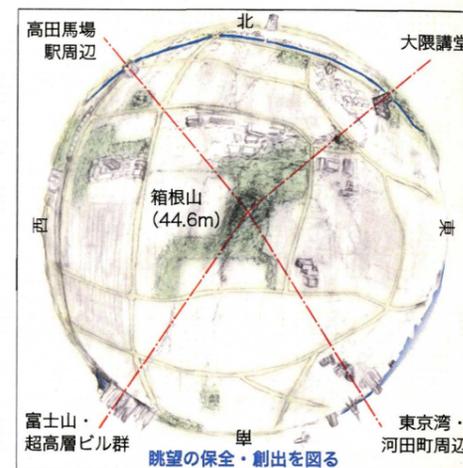
### 3. まちに溶け込む大規模施設群（学校や医療・福祉機関等）の景観をつくる

#### 景観形成の考え方

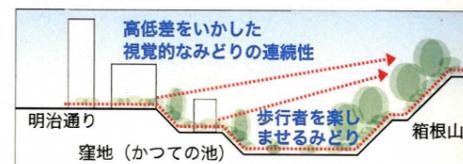
エリア内に多数存在する大規模施設（大学や医療・福祉機関、等）の敷地境界を開放的なものにし、周囲を歩く人が楽しめるような景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 色彩や素材は、周囲と調和した落ち着いたものとする
- 道路沿いには十分な広さの空地を設け、樹木や草花などにより、歩行者にとって明るく潤いのある景観をつくる
- 屋上緑化や壁面緑化を積極的に行う



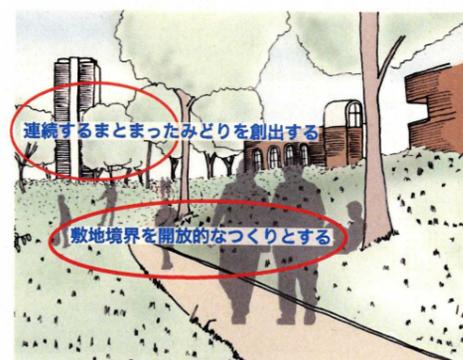
箱根山を中心とした周辺地域の景観資源



地形をいかした一体感のあるみどり



大規模敷地の周辺に生じる圧迫感の緩和



まちに溶け込む大規模敷地群

# 4-2 夏目坂エリア

夏目漱石の父親が、屋敷前の坂に自分の名前を付けたことが、坂道の名前の由来となっています。北側の斜面地には寺社や住宅が建ち並び落ち着いたまちなみがあり、エリアの中心を通る大久保通りや団子坂沿いには、小規模な店舗の連続により賑わいあふれるまちなみとなっています。



夏目坂からは、東側には早稲田大学喜久井町キャンパスの斜面地のみどり、西側には寺院の境内の樹木が目に入ります。

不整形な道路基盤により、数多くのアイストップが生まれています。

## 景観特性



下戸塚坂からは北側に向かって見晴らしの良い眺めが得られます。

大久保通り沿いには間口の狭い店舗が連なっています。

交差点のみどりアイストップになっています。

団子坂からは西新宿周辺の超高層ビル群が見えます。

### 1. 坂道の景観



エリアの東側の斜面地上を夏目坂が南北に走り、南側で大久保通りと団子坂に突き当たります。夏目坂沿いには寺社が多く、また、下戸塚坂の上からの眺めは、遠くまで見通すことができ、地形を感じる景観となっています。

### 2. 住宅地の景観



エリアの北側と南側には住宅地があります。南側の住宅地は台地上にあり、比較的ゆとりのある良好な住宅地です。北側の住宅地は斜面地上にあり、生活感のあるみどりあふれる路地などがあります。また、アイストップとなる場所が多く存在しています。

### 3. 商店街の景観



大久保通りは北側の斜面地と南側の台地のちょうど狭間に位置しています。周辺居住者の日常生活を支える店舗が建ち並び、賑わいあふれる景観となっています。

## 景観形成の目標

# 坂道や寺社の雰囲気をかきた落ち着いたまちなみへ

坂道やまとまったみどりなどの景観資源をかきた、住宅地の落ち着いた景観をつくる。

## 景観形成の方針

### 1. 由緒ある坂道をいかした景観をつくる

#### 景観形成の考え方

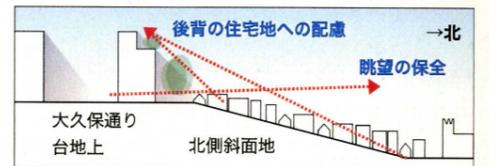
夏目坂や団子坂等の由緒ある坂道沿いでは、坂道の歴史に配慮した落ち着いた景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 色彩や素材は、周囲と調和した落ち着いたものとする
- 擁壁の上部の垣・さくは高さを抑える
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する（壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図る、など）
- 道路沿いには空地をとり、植栽帯を設ける
- アイストップとなる場所では、積極的に緑化を行う



北斜面の坂道景観



北側斜面住宅地への配慮

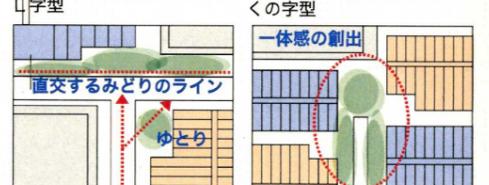
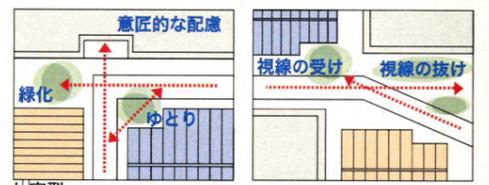
### 2. 落ち着いた住宅地と調和した景観をつくる

#### 景観形成の考え方

北側に広がる斜面住宅地や南側の台地上の住宅地の落ち着いたまちなみと調和した景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 色彩や素材は、周囲と調和した落ち着いたものとする
- 壁面の分節化を図り、長大な壁とならないように配慮する



アイストップの活用

### 3. 賑わいあふれる幹線道路沿道景観をつくる

#### 景観形成の考え方

大久保通り沿いでは、低層部の賑わいを創出し快適な歩行者空間をつくる。また、周辺住宅地の住環境へも配慮する。

#### 具体的な方策

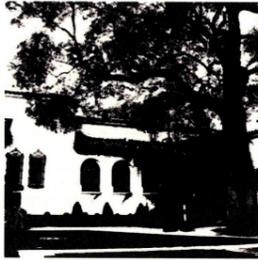
- 壁面の位置を揃え、周囲と調和を図る
- 間口は現在の規模を継承するか、もしくは、分節化を図る
- 低層部の賑わいを感じられるよう、開放的な意匠とする
- 夜間景観に配慮した照明計画とする
- 住宅地とのボリュームギャップを解消する（住宅地側は階数を減らし、屋上緑化をするなど）
- 住宅地側には空地をとり、積極的に緑化する



賑わいあふれる歩行者空間

# 4-3 女子医大エリア

エリアの大部分を占める東京女子医科大学は、明治30（1900）年に創立した東京女醫学校を母体として、昭和27（1952）年に設立されました。ほぼ台地上に位置し、エリアの中央部には女子医大通りが通っています。また、昭和2（1927）年竣工の旧小笠原伯爵邸や東京女子医科大学1号館などの歴史的建築物があります。



## 景観特性

昭和2（1927）年竣工のスパニッシュ様式の邸宅建築物です。平成14（2002）年に改修され、現在はレストランとして営業しています。



## 1. 歴史ある建築物



旧小笠原伯爵邸や東京女子医大1号館など歴史的にも景観的にも重要な建築物があり、その保全や活用が必要です。

## 2. 台地上の高層建築物



このエリアは台地上に位置しているため、エリア内の高層・超高層建築物群は周辺のさまざまな場所からよく見えます。

## 3. 女子医大通り沿いの景観



エリアの大部分を占める大規模施設等は、その周囲を歩く人に対して、快適さや楽しさを提供するような配慮が必要です。

## 景観形成の目標

# 歴史ある建築物をいかに大規模施設群が周囲に溶け込むまちなみへ

台地上に東京女子医科大学など大規模敷地が広がるまちなみを、全体として調和のとれた風格ある景観とする。

## 景観形成の方針

### 1. 歴史ある建築物をいかにした景観をつくる

#### 景観形成の考え方

旧小笠原伯爵邸や東京女子医科大学1号館などの歴史的に重要な建築物をいかにした景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 旧小笠原伯爵邸周辺では、都市計画道路の整備にあわせ、建築物のおもむきと調和した景観をつくる（都市計画道路の喧噪から分断するための、旧小笠原伯爵邸を取り囲む植栽の設置など）
- 小笠原邸周辺では、建築物のおもむきと調和した落ち着いた形態意匠とする
- 東京女子医科大学1号館周辺では、建築物のおもむきと調和した垣・さくとする（生垣・煉瓦塀など）

### 2. まちに溶け込む大規模施設群（学校や医療・福祉機関等）の景観をつくる

#### 景観形成の考え方

エリア内に多数存在する大規模施設（大学や医療・福祉機関等）の敷地境界を開放的なものにし、周囲を歩く人が楽しめるような景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 色彩や素材は、周囲と調和した落ち着いたものとする
- 道路沿いには十分な広さの空地を設け、樹木や草花などにより、歩行者にとって明るく潤いのある景観をつくる
- 屋上緑化や壁面緑化を積極的に行う

### 3. 女子医大通りの歩行者空間を

## 歩きやすく快適なものにする

#### 景観形成の考え方

女子医大通り沿いでは歩く人に快適な歩行者空間をつくる。

#### 具体的な方策

- 幅員の狭い歩道沿いでは、歩道と連続した歩行者空間をつくる
- 壁面の位置は後退させ、圧迫感を与えないよう配慮する
- 垣・さくは高さを抑え、圧迫感を与えないよう配慮する



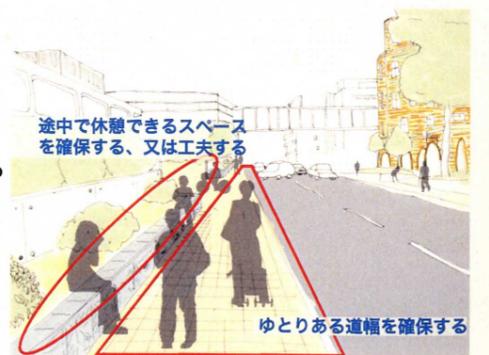
東京女子医科大学1号館のおもむきに調和させる



旧小笠原伯爵邸に調和したまちなみをつくる



歩行者に開放的な公開空地



快適な歩行者空間をつくる

# 4-4 余丁町周辺エリア

江戸時代にはエリアの大部分は武家地であり、余丁町通りの北側では当時の敷地割りが残っています。明治時代には、余丁町通り南側に東京監獄ができました。現在では、余丁町通り沿いの整然としたまちなみや、まねぎ通り沿いの賑わいあるまちなみがあり、都市計画道路の優先整備路線となっている場所もあります。



## 景観特性



抜弁天から東京医科大学まで約300mの直線道路は、150年あまりも道幅が変わっておらず、その沿道には店舗が連なっています。

### 1. 整った道路景観



近年整備が完了した余丁町通りは、低木の街路樹が並び歩道も広く沿道の建築物も整然と建ち並んでいます。また、まねぎりは江戸時代から幅員も変わっておらず、沿道に小規模な店舗が連続し賑わいある景観となっています。

### 2. 良好な住宅地



余丁町通りの南北に、みどりと生活感あふれる良好な住宅地が広がっています。また、エリアの外周部は急な斜面となっており、坂道や階段のある変化のある景観となっています。

### 3. 過渡期の景観



優先整備路線となっている都市計画道路環状4号線は、現在の良好な住宅地を縦断する形で計画されています。整備にあたっては、既存住宅地への配慮と良好な沿道景観の創出が必要です。

## 景観形成の目標

### 賑わいと身近なみどりを感じられるまちなみへ

都市計画道路環状4号線の新設による大幅なまちなみの変化にあたって、既存の良好な住環境の保全とともに沿道の賑わいあふれる景観の創出を図る。

## 景観形成の方針

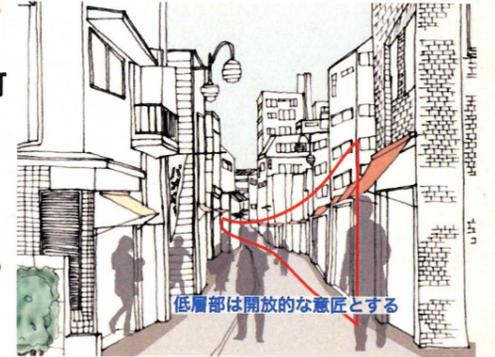
### 1. 商店街や幹線道路沿道の賑わいあふれる景観をつくる

#### 景観形成の考え方

古くから商店の連なるまねぎ通り商店街のまちなみや余丁町通りの沿道を賑わいあふれる景観とする。

#### 具体的な方策

- 壁面の位置を揃え、周囲のまちなみとの調和を図る
- 低層部の賑わいを感じられるよう、1階の軒線を強調した意匠とする
- 間口は現在の規模を継承するか、もしくは、分節化を図る
- 色彩や素材は落ち着いたものとする
- 夜間景観に配慮し、シャッターは透過性の高いものとする
- 夜間景観に配慮した照明計画とする



賑わいあふれるまねぎ通り商店街

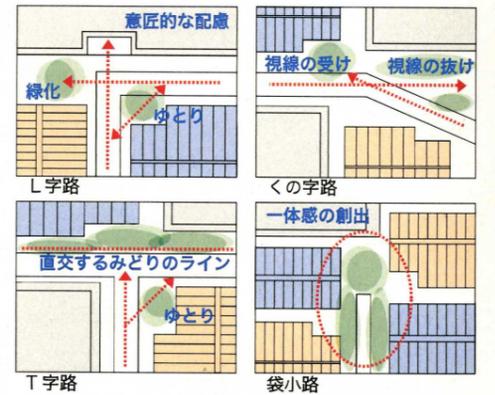
### 2. 台地上の落ち着いた住宅地のみどりあふれる景観をつくる

#### 景観形成の考え方

エリアに多く存在する路地景観を、身近なみどりがあふれる潤いのあるものとする。

#### 具体的な方策

- 垣・さくなどは生垣とする
- アイスストップとなる場所では、積極的に緑化を行う
- 斜面地上では、積極的に緑化を行う



アイストップの活用

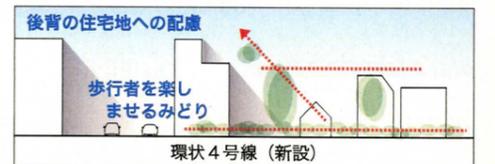
### 3. 道路新設にあたっては落ち着いた住宅地の雰囲気をかした景観をつくる

#### 景観形成の考え方

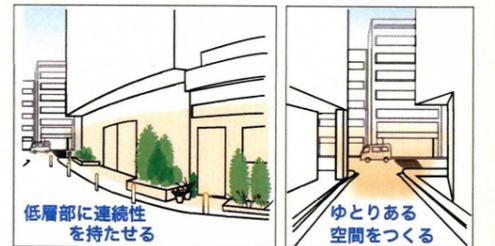
本エリアを縦断する予定の環状4号線沿いは、後背地の落ち着いた住宅地に配慮しつつ、賑わいと快適な歩行者空間の創出を図る。

#### 具体的な方策

- 環状4号線沿いでは低層部は開放的な意匠とし、賑わい空間となるよう工夫する
- 環状4号線沿いではスカイラインや壁面線の連続性をつくる
- 住宅地側には空地をとり、積極的に緑化する
- 住宅地とのボリュームギャップを解消する(住宅地側は階数を減らし、屋上緑化をするなど)
- 住宅地側に設備機器置き場などを設ける場合は、植栽や外構などで工夫し修景を行う



落ち着いた住宅地への配慮



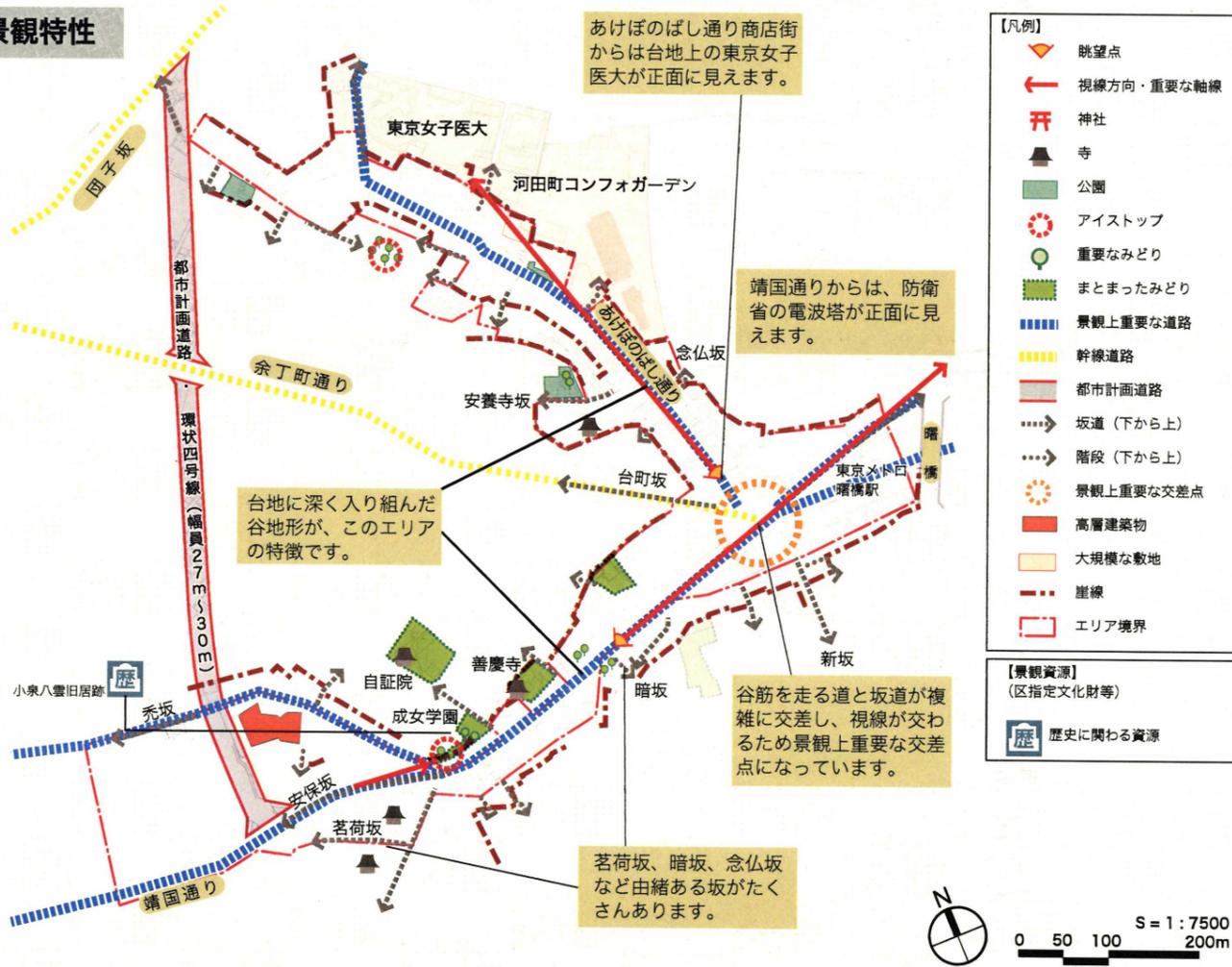
幹線道路と路地の接続部での歩行者空間の工夫

# 4-5 曙橋エリア

昭和35（1957）年に開通した曙橋は、谷地で隔たれていた牛込地区と四谷地区をつなぎ、区内の道路事情を改善しました。靖国通りとあけぼのぼし通りは、四谷から続く谷地を通っています。靖国通り沿いは、寺社のみどりや坂道、階段により変化のあるまちなみとなっています。また、あけぼのぼし通り沿いには小規模な店舗が建ち並び、賑わいあふれるまちなみとなっています。



## 景観特性



### 1. 谷地沿いの曙橋商店街



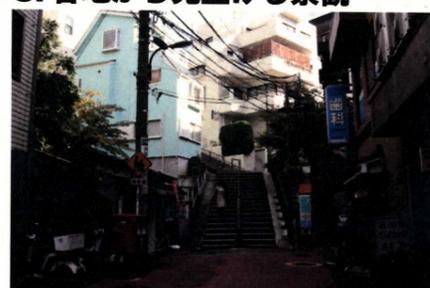
谷地沿いに広がるあけぼのぼし通り商店街は、周辺の居住者などの日常生活を支える店舗が連続しています。

### 2. 靖国通り沿いの景観



谷地を通る靖国通り沿いには、高層建築物が建ち並んでいます。しかしながら、善慶寺などの寺社や成女学園などの学校が斜面地上にあり、その豊富なみどりを谷地から見るができます。

### 3. 谷地から見上げる景観



エリアの大部分が谷地となっているため、外周部の台地を見上げる景観が特徴的です。靖国通りから伸びる暗坂や、あけぼのぼし通りから伸びる念仏坂などの坂道は、魅力的な景観となっています。

## 景観形成の目標

### あけぼのぼし通りと靖国通りの地形をいかした賑わいあふれるまちなみへ

曙橋駅を起点に広がるあけぼのぼし商店街の賑わい景観と起伏の大きい地形をいかした景観の形成を図る。

## 景観形成の方針

### 1. 賑わいあふれるあけぼのぼし通り商店街の景観をつくる

#### 景観形成の考え方

谷地沿いに広がるあけぼのぼし通り商店街は、周辺居住者や近接するビジネス街の日常生活を支える商店街として、歩く人に快適な賑わい空間をつくる。

#### 具体的な方策

- 壁面の位置を揃え、周囲のまちなみとの調和を図る
- 低層部の賑わいを感じられるよう、1階の軒線を強調した意匠とする
- 間口は現在の規模を継承するか、もしくは、分節化を図る
- 色彩や素材は落ち着いたものとする
- 角地に位置する場所では、目立つことに配慮し、コーナーの意匠を工夫する
- 夜間景観に配慮し、シャッターは透過性の高いものとする
- 夜間景観に配慮した照明計画とする

### 2. みどり豊かで落ち着いた靖国通りの景観をつくる

#### 景観形成の考え方

谷地を通る靖国通り沿いの街路樹や点在する寺社や坂道、成女学園等の雰囲気をかき、落ち着きあるみどり豊かな景観をつくる。

#### 具体的な方策

- 既存樹木を保全する
- 色彩や素材は寺社の雰囲気と調和した落ち着いたものとする
- 靖国通り沿道では、積極的に緑化を図る

### 3. 谷地から見上げる眺めに配慮した景観をつくる

#### 景観形成の考え方

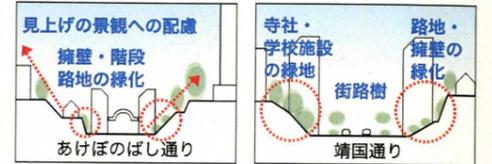
エリアの外周を取り囲む斜面地と台地を見上げる景観に配慮し、地形をいかした魅力的な景観をつくる。

#### 具体的な方策

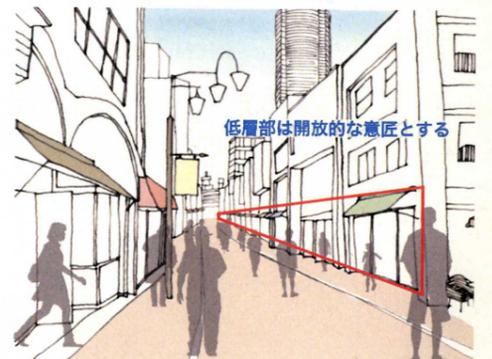
- 擁壁の上部の塀・さくは高さを抑える
- 擁壁は周囲と調和し、圧迫感を与えないものとなるよう工夫する（壁面緑化を行う、自然素材を用いる、分節化を図る など）
- 坂道・階段沿いおよび谷地側には空地をとり、植栽帯を設ける
- 念仏坂などの途中で折れ曲がる坂道では、折れ曲がり部分などで積極的に緑化を行う

### まちなみの大幅な変化が予想される場所では、幹線道路沿いの賑わいと潤いの創出を図る。

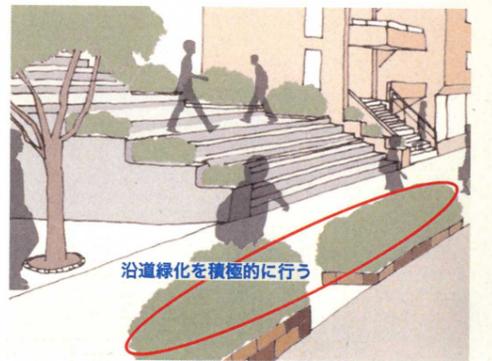
- 幹線道路沿いの賑わいと潤いを創出する
- 広場等による地域に開かれた憩いの空間を創出する
- 新宿御苑からの眺望を妨げないように配慮する



谷地の地形をいかした一体感のあるみどり



賑わいあふれるあけぼのぼし通り商店街



みどり豊かで落ち着きのある靖国通り



谷地から見上げる景観に配慮する